

令和7（2025）年度

事業計画書

学校法人 北辰学堂

【令和7年度施策】

令和7(2025)年度は中期計画（令和7～11年度）の初年度にあたる。本法人は、設置校である育英館大学において、前年度までに整備された教学体制・支援体制をさらに発展させ、「地域社会に根ざしつつ、グローバルな視野を持った大学」として、建学の精神の実現を目指して下記に取り組む。

1. 令和7年度の基本目標と施策

1-1. デジタル技術を活用した実践的教育の強化

- ・「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の深化と普及を図る。令和6年度に文部科学省認定を受けたリテラシー・応用基礎レベルのプログラムを核に、学内展開を拡大する。
- ・ドローン、メディア表現、CGなどの科目群の教材開発および教育効果の検証を進める。
- ・ハイブリッド型授業の運用改善と、オンライン学修環境の質的向上を図る。

1-2. 地域社会と連携した人材育成の推進

- ・稚内市・豊富町との協働による児童生徒への学習支援を継続・発展させる。
- ・地域公開講座を継続し、市民の生涯学習機会を提供する（令和6年度：19講座）。
- ・地域課題解決型PBLの科目化・制度化に向けた準備を行う。

1-3. グローバルな視点を持った教育の充実

- ・留学生別科を拡充し、特に東南アジア・中央アジア・西アジアからの受入れを強化する。
- ・留学生の大学本学科進学率を高めるため、別科・学部間の連携指導体制を構築する。
- ・京都キャンパスでの多文化共生イベント等を実施し、国際交流の場を創出する。

1-4. 学生支援とキャリア形成の充実

- ・稚内本校の「学生相談室」および京都キャンパスの「学生総合相談室」を中心とした個別支援体制を強化する。
- ・就職支援講座を引き続き実施し、社会保障や労務知識を含む実践的キャリア教育を推進する。
- ・資格取得奨励制度の周知を強化し、受験者数の回復を図る。

1-5. 教育研究の質の向上

- ・教育成果および地域連携・研究活動の外部発信を強化する。

1-6. 持続可能な大学運営基盤の確立

- ・学生募集戦略として、SNS 活用やプライベートオープンキャンパスの個別対応を重点化し、定員充足を目指す。
- ・京都キャンパスの知名度向上のため、高大接続事業の強化、指定校拡大、通信制高校との連携を進める。

2. 財務運営に関する方針

- ・学納金収入の増加に向けて入学者数の回復を優先課題とし、特に留学生別科からの進学率を高める。
- ・補助金・助成金の獲得、外部資金の導入等を進め、財務基盤を強化する。